

今後のスケジュールについて

4月24日 新型インフルエンザ専門家会議（全体）



ガイドラインの部門別検討



6月上旬 新型インフルエンザ専門家会議（全体）

○ 各種ガイドラインについて

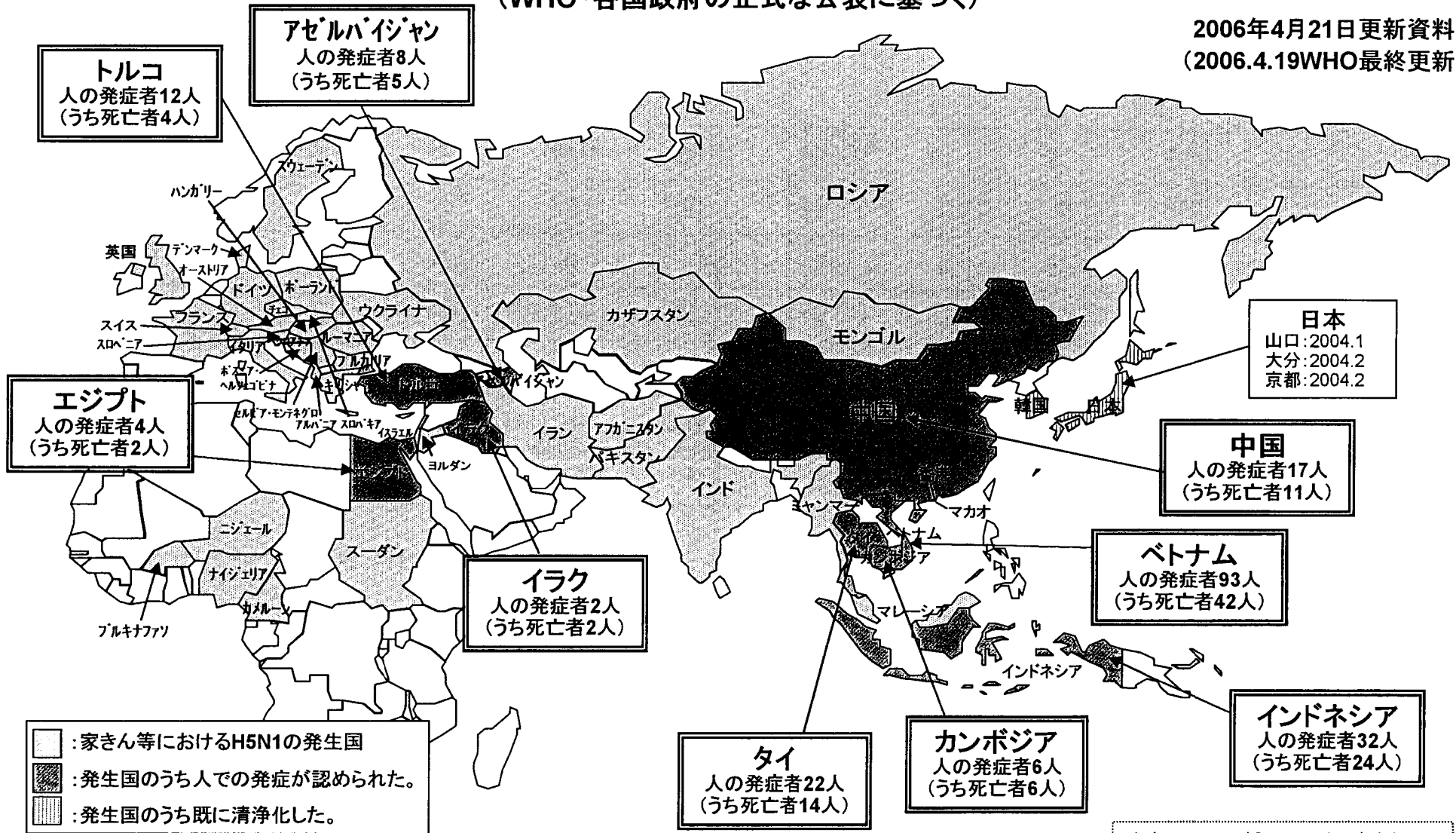
- ・ 検疫ガイドライン
- ・ 診断・治療ガイドライン
- ・ 院内感染対策ガイドライン
- ・ 患者移送ガイドライン
- ・ 積極的疫学調査マニュアル
- ・ サーベイランスガイドライン

○ 広報媒体について

高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)発生国及び人での発症事例 (2003年12月以降)

(WHO・各国政府の正式な公表に基づく)

2006年4月21日更新資料
(2006.4.19WHO最終更新)



:家きん等におけるH5N1の発生国
 :発生国のうち人での発症が認められた。
 :発生国のうち既に清浄化した。

注1) 上図の他、人への感染事例として、
 1997年香港(H5N1 18名感染、6人死亡)
 2003年香港(H5N1 2名感染、1人死亡)
 2003年オランダ(H7N7 89名感染、1人死亡)
 2004年カナダ(H7N3 2名感染、死亡なし)等 がある。

注2) 上図のうち、モンゴル、イタリア、ブルガリア、スロベニア、ギリシャ、イラン、オーストリア、スロバキア、ハンガリー、ポーランド、スイス、スウェーデン、デンマーク、チェコ、ボスニアヘルツェゴビナ、ブルキナファソ、英国は野鳥からの検出。

参考:WHOの確認している発症者数は計196人(うち死亡110人)。

出典:WHO・OIEホームページ

WHOに報告されたヒトの高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)感染確定症例数

(2006年4月19日WHO公表)

	2003年		2004年		2005年		2006年		合計	
	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数
アセバイン	0	0	0	0	0	0	8	5	8	5
カンボジア	0	0	0	0	4	4	2	2	6	6
中国	0	0	0	0	8	5	9	6	17	11
エジプト	0	0	0	0	0	0	4	2	4	2
インドネシア	0	0	0	0	17	11	15	13	32	24
イラク	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
タイ	0	0	17	12	5	2	0	0	22	14
トルコ	0	0	0	0	0	0	12	4	12	4
ベトナム	3	3	29	20	61	19	0	0	93	42
合計	3	3	46	32	95	41	52	34	196	110

注

確定症例総数は死亡例数も含む。

WHOは検査により確定された確定例だけを報告する。